

2024 年 9 月

24 年 2 次ファイナル模試  
受講生各位

**『24 年 2 次ファイナル全国模試 事例Ⅲ 解答解説落丁のご案内』**

謹啓

平素は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

「24 年 2 次ファイナル模試 事例Ⅲ 解答解説」(NU24468)におきまして、第 3 問の P 84 以降で落丁がありました。大変申し訳ございませんでした。該当記載箇所につきましては、別紙の通りです。

今後、このような不手際を起こさぬよう、注意徹底いたす所存でございますので、ご寛容賜りますようお願い申し上げます。

謹白

LEC 東京リーガルマインド 中小企業診断士課  
コールセンター (ナビダイヤル) : 0570-064-464  
平日 09:30~19:30 土・日・祝 10:00~18:00

ようになっているはずである。

- ・航空機の管制塔や電車の操縦桿等の基板の製造（現時点でも実施可能）
- ・航空機の管制塔や電車の操縦桿等の筐体の製造・組立
- ・美容業界や家電業界向けの小型基板の製造

これらを踏まえて、製品・市場マトリクスを組んでみると、次のような形となる。（仮に美容業界や家電業界を新市場とする）

図. C社の5年後の製品・市場マトリクス

		製品	
		既存	新規
市場	既存	基板の製造	筐体加工・組立の実施
	新規	小型基板の製造	

ここで、次の与件文に着眼したい。

第17段落： Y社も電子関連部品は特許情報の塊であることから、電子部品の製造工程以降は絶対に国内で完結したいとのことであった。そのため、長期的に需要が見込めることが期待される。

美容業界や家電業界向けの小型基板の製造であっても、基板を製造したら、次の工程は組立工程になる。組立工程も国内で関係したいというニーズがあることから、筐体に基板を挿入する、組立工程が存在するはずである。場合によっては、筐体の製造機能も一部請け負うことができるかもしれない。その機能こそがすでに取引先のニーズが見えている＝最も実現可能性が高い新分野と言える。そのため、解答としては、小型基板の製造に加えて、組立（や加工も）捉える、といった解答が唯一の正解であった。

図. C社がさらに目指すべき方向性

		製品	
		既存	新規
市場	既存	基板の製造	筐体加工・組立の実施
	新規	小型基板の製造	

なお、与件文には金属加工自体は難しいものではなく、組立はスマイルカーブの知識から考えても難易度は低い。そのため、年を取ってからでも配置が可能である根拠も記載されていることから、実現可能性も十分である。

模範解答では「筐体加工・組立」とやや広めの事業領域を想定して両方を盛り込んでいるが、組立だけ書ければ問題ない。